

平成20年度主な事業概要一覧表

地域協議会名	事業名	団体名	事業内容
正副会長会 (全市域)	上田16万市民の安心・安全を守る災害に強い上田市づくり	上小建設事業協同組合	市内全世帯に防災マップを配布し、災害に強い上田市づくりを目指していく。また、防災イベントを開催し、地域防災について多角的に考える機会をもった。今後もこれらを活用しながら防災に強い先進モデル都市につなげていく。
上田中央地域	「押出川流域」ウォーキングトレイル整備事業	押出川関連五自治会連合会	市街地に残された貴重な自然の残る押出川流域の里山を整備し、清流を守っていく活動を地域の五自治会が協力して行っていく。倒木の運び出しやごみ清掃活動を年間を通して実施した。現場は急傾斜地であるため、来年度以降安全を考慮しながら遊歩道の整備、支障木の伐採等を実施し、子供たちの遊びの場、住民の健康づくりの場の提供といった取り組みを地域住民の手で進めていく。
上田西部地域	かかりつけ医をさがせ	西部地域を考える会	医療体制の危機と言われる今日、一次医療、二次医療、三次医療について知ることにより、私達が日々安心して暮らせることを考えたい。日常の医療として、一次医療の現場を支える医師から疾病やその治療、そして医療体制のあり方を学んで理解し、市民と行政が共に地域医療を考える懇談会を開催した。平成20年度は、6回の懇談会を開催し、健康福祉課と開業医6人の話を聞くことができ、多くの市民の参加を得て、少しずつでも医療体制について学ぶことができた。引き続き三次医療の立場からの話を聞くなど行政、医師、市民との懇談会を開催していく。
上田城南地域	伝統的文化的行事(道祖神・盆踊り・どんど焼き)を大切に する川辺町自治会	川辺町自治会	昭和30年まで実施されていた道祖神まじりの復活に向けて準備を進め、平成20年度実施にこぎつけた。実に53年ぶりの復活である。地区内の3箇所の道祖神から灯籠や織旗を掲げた子供たちが、移設が完了した川辺町公園の道祖神まで太鼓を叩きながら練り歩いた。来年度以降、子供たちによるさらに賑わいのある活動(お祭り)にしていきたいと考えている。
神科・豊殿地域	あやめの里づくり事業	豊殿地区自治会連合会	往年の見事なあやめが姿を消した街道を、もう一度あやめの花でいっぱいしようとの気運が芽生え、地域の長寿会、小学生、PTA、ボランティア等の協力にもつながった、連帯感の育成を図る事業活動ができた。
塩田地域	下本郷地区花と緑の街づくり事業	下本郷自治会	地区内に多数存在する花壇に、四季を通じて花を咲かせることにより景観を守り育て、美しい潤いのある街づくりを目指していく。また、環境保護や地域の美化に寄与するとともに、通行される方々の目に潤いを与え心を和ませる。花壇の作成や管理には、地区の小学生から高齢者までが関わり、地域の融和と世代間交流が図られている。
川西地域	初夏の里山ふれあいフェスティバル	岡の里山を守る会	浦野川と隣接するピオトープへの通路や水路を整備し、安全で楽しい環境を整えた。さらに川遊び・魚釣り・望見学会などを取り入れたイベントを開催し、地域の多くの人々の参加により、ふるさとの自然のすばらしさ、人とのふれあいの暖かさが実感・体験ができ、親睦と連帯の輪を推進することができた。
丸子地域	箱山城・桜ロード整備事業	箱山城・桜ロードの会	中丸子地籍から箱置池方面に通じる山道沿いに、平成15年から地元有志が集まり道路整備や花木の植栽を行ってきた。今回は地元小学生や丸子修学館高校の生徒と共に桜等の植栽を行い、世代間を超えて交流を図りながら温暖化防止、環境美化に努め、多くの地域住民の憩いの場となるよう整備を行う。21年度以降も児童、生徒と地域住民の協働で継続して整備、維持管理を行い、自然とふれあい、住民が交流できる場としたい。
真田地域	ダボスの丘 遊歩道整備事業	菅平区	日本のダボスと称される菅平高原。そのシンボルでもあるダボスの丘に、麓から頂上まで登れる遊歩道を整備する事業。区民や、多くの来訪者が安全にたやすく丘に登れるよう、擬木を使った階段形式の遊歩道を設置した。区民協働の作業により地域内のコミュニティーの活性化につながった。今後、整備した遊歩道を利用し区民の安らぎの場とすると共に、来訪者との交流の場として菅平の魅力を発信していきたい。
武石地域	ヒカリ苔輝く美ヶ原焼山沢登山道整備事業	武石山岳会	美ヶ原の代表的登山ルートである焼山沢登山道の整備管理を通して、登山者の安全確保とヒカリ苔をはじめとする美ヶ原の貴重な植生の保護を図る。台上を車で通過しただけでは味わうことのできない、美ヶ原の持つ自然の豊かさ奥深さを、多くの人に安全に体験していただきたい。

平成21年度主な実施予定事業一覧表

地域協議会名	事業名	団体名	事業内容
正副会長会 (全市域)	上田から発信！健康、観光、ノルディックウォーキング交流事業	信州上田ノルディックウォーキング協会	ストックを使用し4本の足で地域をめぐるウォーキング事業を開催する。ゲストに荻原健司さんを招き、県内外の協力団体や市民の皆さんの参加を広く呼びかけ、市内の観光めぐりを兼ねて実施する。開催日は9月6日(日曜日)の予定。昨年度は菅平高原で実施されたが今年度は上田城跡公園を中心とした上田中央地域での開催を行う予定である。
上田中央地域	悠久の歴史に息づく信濃国分寺を核とした魅力ある地域づくり	信濃国分寺蓮の花を育てる会	国分寺に隣接した休耕田を活用し、蓮の花を育て、重要文化財三重塔・本堂とツツジ・蓮の調和のとれた景観をつくることで、地域の魅力をアピールし多くの方が訪れることを期待する。既存の遊歩道は狭い箇所があり、車椅子で訪れる方も行き交い易いよう、整備していく。また、7月12日(日曜日)の予定で「蓮フェスタ in 国分寺」を開催し、市内外の方々に歴史と伝統に培われた信濃国分寺と周辺地域の良さを知っていただくイベントとする。
上田西部地域	ホタルの復活に伴う下塩尻全体のコミュニティの活性化	下塩尻自治会	下塩尻で取組んでいるホタル水路でのホタルは、現在まで多くの自治会員の協力により市内外に反響をよんでいる。今回、ホタル水路を地域の宝として発展させると共に上田市の観光のイメージアップにつなげるため、あずまやを設置しホタル水路全体の拠点とする。ホタルの生態に関する看板を設置し、子供たちの生物に対する学習の場として整備する。また、ホタルの生態についてビデオ記録の作成も行う。ホタルの乱舞する期間 6月20日(土曜日)の予定に住民を中心とした「ホタル祭り」を実施し、ふるさとに対しての愛着心を育て、ロマンあふれるふるさと作りを進める。
上田城南地域	倉升山遊歩道の整備事業	倉升自治会	かつて「炭鉱」や「射撃場」として利用されていた倉升山へたどる道を整備し(L=492m)将来に渡って住民の健康増進に寄与するような遊歩道を住民の手で造り上げる。今年度は入口から整備にあたり、来年度以降、休憩所(あづまや)の設置、案内板の設置、植栽活動等を実施していく。夏以降本格的な作業を開始する予定。
神科・豊殿地域	玄蕃山公園の桜を活かしたふれあいの里づくり	長島自治会	上田市の玄関口ともいえる高速道路の入口であり、その象徴ともいえる玄蕃山公園は、桜の3,000本植樹事業も終わり、見頃となってきた。地域行事への参加や関心が低下している中で、この公園一体を地域住民で整備することにより、住民がその価値を再認識して地域への愛着や一体感を高めてゆく。4月19日(日曜日)に花見会の開催を予定している。
塩田地域	塩田平礼所めぐり興隆事業	塩田平礼所めぐり興隆会	塩田地域には、約300年前に四国霊場八十八ヶ所の仏像を勧請し、巡回することで巡礼と同様の御利益があるとされていた。礼所めぐりを通してこのような文化を探究することから、地域の歴史や多くの風習などを理解し、地域の魅力の再発見と観光を含めた情報の発信を行う。礼所めぐりは春と秋に3回づつ計画し、3回参加すると一週り巡回できるコース計画を考えている。春は4月19日(日曜日)、5月17日(日曜日)、5月23日(土曜日)を予定している。秋の開催は後日決定。
川西地域	水辺公園祭り	水辺の会	室賀川を水辺で遊べる場所として整備し、住民同士の交流を図り、太い絆で結ばれた地域再生を目指す。この事業の実施により、地域再発見・交流・子育てをつなぐ上で抜群の力が期待できる。4月桜祭り、6月ほたる祭り、8月夏祭りを予定している。
丸子地域	一本木公園整備事業	一本木公園をつくる会	塩川、長瀬地区の境に位置する通称「一本木塚」は、陣場地区のぶどう畑マリコヴィンヤードに隣接し、旧上田市、菅平高原、浅間山等を一望できる景観に恵まれた場所であり、春には多くの桜の木が花を咲かせている。しかし、現在は未整備で荒れているため、地区を越えて地域住民の手により地域が交流できる場所として整備し、地域住民交流イベントを実施するなど広く広報しながら住民の連帯感を深め、地域の活性化を図る。21年度は、春4月12日(日曜日)と秋(未定)に花見会等を予定している。
真田地域	あずまや高原を憩いの広場に育てる事業	らいてうの家運営委員会	四阿高原にある「らいてうの家」とその周辺一帯を会場としてコンサート、講座、野草・山菜料理の講習会などを開催する。高原を上田市民と全国から訪れる人々との交流の場として育て、地域の活性化に貢献する。今年度は7月5日(日曜日)こども祭り、8月9日(日曜日)あずまや高原地域活性化懇談会、8月23日(日曜日)コンサート、9月5日(土曜日)らいてう講座を予定している。
武石地域	すぐりの里づくり事業	西武自治会	地域の名前に由来したスグリをはじめ、フキ、ワラビ等の山菜や、きのこと類を、四季を通して収穫できる場所の整備を図る。近くに練馬少年自然の家もあることから、都市と山村の交流と、地域の活性化を図りながら、地区内の遊休荒地を解消する。今年と来年の2年間は、整備期間と位置づけ3年目以降に春のイベントを予定している。なお、以前から関連の活動を行っていたチロリンの森事業で9月末にきのこ採り祭りを予定している。